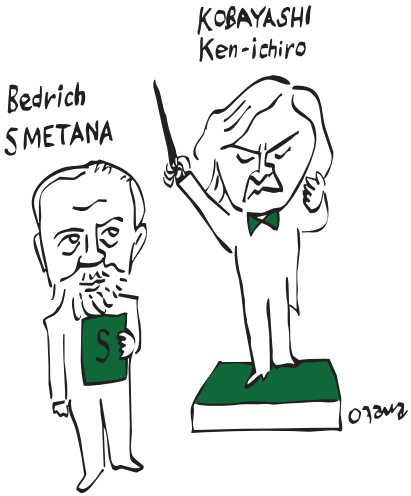
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

— 創立指揮者 渡邉曉雄 —



Tokyo

東京定期演奏会
785th

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2026.11



Yokohama

横浜定期演奏会
422nd

日本フィルハーモニー交響楽団

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします

電源OFF





演奏中は携帯電話や時計のアラームなど
デジタル機器の電源はお切りください。

音にご注意を



ビニール袋
鞄にしまう、またはいすの下へ置くなど
物音がたたないようにご配慮ください。



マジックテープやファスナーの音
開け閉めの音は意外に響きます。
演奏前にご確認ください。



飴の袋
客席内の飲食はご遠慮いただいて
おります。お咳の予防等でご利用の
際は、演奏前にお口の中にいれるか、
あらかじめ袋から出しておく等の
ご準備をお願いいたします。



鈴などアクセサリーがついたストラップ
鞄にしまうなど鳴らないように
ご配慮ください。



補聴器の音
ハウリングをおこさないよう、
しっかりと装着し、適切な音量に
調整をお願いいたします。

声と拍手にご注意を





演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って
響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。
最後の余韻までお楽しみください。

撮影禁止







演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。
※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。
詳細は公演時にご案内いたします。

周囲にご配慮を





席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮って
いることもございます。また香水や強い香りなどについても周りのお客様への
ご配慮をお願いいたします。

日本フィルでは、すべてのお客様に安心して音楽をお楽しみいただき、出演者・スタッフが安全に業務に専念できるよう、ハラスメント行為への対応に関する取り組みを進めております。互いにリスペクトし合える快適な鑑賞環境づくりへ、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。https://japanphil.or.jp/news/20261027-2/



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、
動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- フラッシュの使用はお控えください
- 動画の撮影はお控えください
- 撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- 自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
- 自撮り棒などの使用はお控えください
- 演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください（録音・録画は違法行為です）

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ　#日本フィル　#japanphil　をつけてください！

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA



©飯田 耕治

CONTENTS　目 次

東京定期演奏会プログラム	4
写真プレイバック- 2026年9月 -	9
次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー 沖澤 のどか編	10
横浜定期演奏会プログラム	12
歴史でひもとく!〜クラシックこぼれ話 by小宮 正安	17
次回横浜定期演奏会	18
メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧	19
あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ	20
今後の日本フィル出演公演	22
2027-2028シーズン 東京・横浜 定期演奏会一覧	24
第九特別演奏会2026	26
カーチュン・ウォン今後の演奏会	27
感動の共有　〜ご支援のお願い〜	35
日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名	36
日本フィルハーモニー交響楽団　パトロネージュご芳名	40
インフォメーション	42
オーケストラ・プロフィール	43
楽団紹介	44

ご来場お客様アンケートのお願い

公演ごとに抽選で
招待券をプレゼント

本日は、演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。
3分程度のアンケートを、二次元コードを読み取っていただき、
演奏会から5日以内にご回答をお願いします。

第785回東京定期演奏会

785th Tokyo Subscription Concerts

2026年 11月13日(金) 19:00開演
11月14日(土) 14:00開演
サントリーホール

7:00p.m., Friday, 13th & 2:00p.m., Saturday, 14th November, 2026, at Suntory Hall



プレトーク「本日の聴きどころ」 金曜日／18:30〜 土曜日／13:20〜

東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。
今月は音楽評論家 萩谷由喜子さんです。

スメタナ 連作交響詩《我が祖国》(約87分)

Bedřich SMETANA Má vlast

1 ヴィシェフラド
Vyšehrad

2 ヴルタヴァ
Vltava

3 シャールカ
Šárka

休憩(20分) Intermission

4 ボヘミアの森と草原から
Z českých luhů a hájů

5 ターボル
Tábor

6 ブラニーク
Blaník

11月13日(金)公演は
11月16日(月)から
アーカイブ配信!

Member's TVU CHANNEL にて配信
https://members.tvu.com
詳細はP19へ

指揮 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
Conductor KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

コンサートマスター 木野 雅之[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

◀指揮者インタビューはこちらから
(10月東京定期プログラム掲載)

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

主催／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協賛／株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社 TANAKEN株式会社 ホッカン株式会社 三井不動産株式会社 UBE株式会社
助成／文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会
表紙イラスト／小澤 一雄


©山本 倫子

Conductor 指揮

小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

東京藝術大学作曲科及び指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を拡げ、現在も第一線で活躍を続けている。音楽に対する真摯な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、名実共に日本を代表する指揮者である。

これまでに海外ではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団(25年間、常任客演指揮者を務める)、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団等、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等、名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「我が祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。この長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降もアシュケナージ指揮 NHK交響楽団、小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団等で再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団・群馬交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授等を務める。

公式ホームページ https://maestro-kobaken.com

スメタナ：連作交響詩《我が祖国》

1789年のフランス革命に伴う一連の戦争に続いてナポレオン旋風が吹き荒れ、混沌のウィーン会議を経たヨーロッパ社会は政治、経済、文化、あらゆる面で変節点を迎え、各国に民族主義と国民国家の理念が広まります。

ベドルジハ・スメタナ（1824-1884）は、まさにその時期のオーストリア帝国支配下のボヘミア（現在のチェコ西部）に、ビール製造業者の子として生まれました。幼児期からピアノを学んだ彼は、フランツ・リスト（1811-1886）の演奏に刺激を受けて音楽家を志し、首都プラハに出て盲目の著名オルガニスト、作曲家のヨゼフ・プロクシュ（1794-1864）に入門します。そしてプラハに音楽学校を開き、恋人のカテルジナとの結婚も果たしました。1856年、彼はスウェーデンのイェーテボリ音楽協会の指揮者として赴任し、翌年妻も呼び寄せました。指揮者の仕事は順調でしたが、病弱な妻は北国で健康を害し1859年春、帰国の旅の途中、プラハを目前にしたドレスデンで異郷の土となりました。

涙を払った彼は帰国後、民族主義音楽の創造に邁進します。そのためにはチェコ語が不可欠でしたが、ドイツ語教育で育った彼は当初チェコ語が不自由でした。彼はそれを恥辱と感じて懸命にチェコ語を習得し、1866年に完成させたのが初のチェコ語台本によるオペラ《売られた花嫁》でした。

当時プラハでは自国の作品を上演するための国民劇場の開設運動は始まっていたもののまだ建設はならず、暫定的な仮劇場が1862年に開設されていました。仮劇場の首席指揮者マイールはスメタナと敵対した立場にあり、イタリア・オペラを主に上演していましたが、この1866年に失脚しました。後任となったスメタナは早速《売られた花嫁》を仮劇場で上演して大成功を収めることができました。その後もマイールら反対勢力と闘いながら、スメタナは国民劇場の開設を目指し、血の汗を流し続けました。

しかし、無念にも、1874年から聴力の衰えが始まります。一切の公的活動から身を退いて山間地に静養しても聴力の減退は進み、完全に失聴します。その苦節の晩年1874～79年に祖国の歴史と風物への限りない愛をこめて書き上げたのが、6曲からなる連作交響詩《我が祖国》でした。第1～第4曲は1875～77年に個々に初演され、第5、第6曲は1880年1月4日に同時に初演されました。

1881年、ついに国民劇場は落成し、その開場記念公演の演目はスメタナのオペラ《リブシェ》でした。ところが何と、敵対勢力が実権を握っていた国民劇場では彼を招待しなかったのです。世論の猛抗議を浴びた国民劇場は、慌てて彼を招きました。失聴し精神の病勢も悪化していたスメタナでしたが、《リブシェ》が圧倒的な大喝采に包まれたことは認識でき、これが彼の最後の晴れ舞台となりました。

【 第1曲：ヴィシェフラド（Vyšehrad） 】　1874年作曲

ヴィシェフラドとはプラハのヴルタヴァ河東岸に聳える古い城跡の名称です。かつて存在したこの城はボヘミア国王の居城でしたが、1420年のフス戦争時に破壊されました。曲はその古城の城跡で吟遊詩人が往時を偲ぶ場面を描きます。冒頭では、吟遊詩人の竪琴を模したハープが「ヴィシェフラドの主題」を即興風に爪弾きます。「♭シ（B）、♭ミ（Es＝S）、レ、♭シ」に始まるこの主題はベドルジハ・スメタナ（Bedřich Smetana）のイニシャル＝B・Sを音名化したものです。この主題は第2曲、第6曲にも現れます。曲は昔の闘いを描く速い部分を経て、最後は追憶のハープで終わります。

【 第2曲：ヴルタヴァ（Vltava） 】　1874年作曲

第2曲は「モルダウ、Moldau」と呼ばれますが、これはこの大河のドイツ語名で、チェコ語ではヴルタヴァ（Vltava）です。スメタナの精神に則れば「ヴルタヴァ」と呼ぶのが相応しいでしょう。曲は「河の一生」を音にした音楽物語であるため、最もわかりやすいことから単独での演奏機会も多くなっています。

冒頭はヴルタヴァの冷温二つの水源を表すフルートとクラリネットの掛け合い。続いてヴァイオリンとオーボエから有名なヴルタヴァの主題が歌われ、流れが確立されたことが示されます。次の川岸の森の狩猟では狩りの角笛を模したホルンが吹き鳴らされます。拍子が2拍子に変わると農民たちの婚礼のポルカとなります。次いで一旦静まり、月光に照らされた夜の河の淵で妖精が踊る場面となり、ハープ、木管、ヴァイオリンがきよらかな音楽を繰り広げます。夜が明けると主題が再帰し、再び勢いのよい流れとなったことが示されます。最大の難所「聖ヨハネの急流」に差し掛かった激しい部分が全曲のクライマックスです。難所を抜けた河は堂々たる大河に成長してプラハ市内に流れ込んできました。東岸のヴィシェフラドに親しげな挨拶を送る場面が第1曲の「ヴィシェフラドの主題」です。最後は二つの和音でエルベ河に合流して終わります。

【 第3曲：シャールカ（Šárka） 】　1875年作曲

シャールカはチェコの伝説の女戦士。部下の女戦士たちに自分を木に縛りつけさせたシャールカは、勇士ツチラトに率いられた男の戦士たちに助けられ、彼らの同情を引いて飲酒させ、男たちが酔いつぶれたところへ女戦士たちを襲いかからせ全員を殺害します。

曲はこの伝説を音楽で描きます。劇的な開始のあと、行進曲風の部分を経てクラリネットが情緒的なシャールカの主題を吹きます。次いでファゴットとチェロから示されるのが勇士ツチラトの主題。両主題が対話します。次の3拍子の部分は宴会の場。民族舞曲が盛

り上がったのち、男たちが酔いつぶれたことを暗示して静かになり、リズムが尾をひきます。曲はテンポを速め、弦のトレモロにのせてホルン信号が響きます。シャールカが仲間に合図を送った信号です。仲間の女戦士たちの登場。曲は狂乱的なクライマックスを築きます。女戦士たちの勝利で曲は終りますが、最後に低音楽器でツチラトの主題の変形が浮かびあがり、シャールカのツチラトへの慕情と悔恨が示されます。

【 第4曲:ボヘミアの森と草原から(Z českých luhů a hájů) 】 1875年作曲

ボヘミアの風景を音楽とした第4曲は、6曲中唯一、史跡や伝説に基づいていません。交響曲ならば緩徐楽章のような位置づけです。曲は深い森を思わせるオーケストラの暗い響きから始まります。続いて牧場を示す主題がクラリネットに示され、次にオーボエが村の娘たちとその歌を示す新しい主題を吹きます。そのあと弱音器つきのヴァイオリンが牧場のなごやかさを示す明るい旋律を奏でて対位法的に展開されたのち、ホルンが森を表す主題をのびやかに吹奏します。その後これまでの主題が展開されてクライマックスを築き、収穫祭の農民たちのようすも示され、打楽器も加わってポルカとなります。これが勢いを増し、最後はテンポを速めて終わります。スメタナ自身「これはチェコの風景をじっくりと眺めたときに、人の心を満たす感情を描いたものである」と述べています。

【 第5曲:ターボル(Tábor) 】 1878年作曲

ターボルとは15世紀にフス戦争の拠点となった南ボヘミアの町の名。曲はフス派の戦士の不屈の戦いを描きます。フス派の戦士たちが愛唱したという力強いコラール「汝ら神の戦士たち」の旋律が用いられています。この旋律は第6曲にも現れます。

【 第6曲:ブラニーク(Blaník) 】 1879年作曲

第5曲の続編。この2曲はスメタナも続けて演奏されることを望んでいました。「ブラニーク」とは、フス教徒の戦士たちが祖国の危機の際にはいつ招集されてもよいように待機していたという、ターボル近郊の山の名。曲は「ターボル」に用いられたコラール旋律を基調にもう一つのコラール、行進曲、戦闘の音楽などが奏されたのち、「ヴィシェフラド」の主題が現れ、最後に2種のコラールが高らかに奏されて全曲を結びます。

ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、トライアングル、ハープ2、弦楽5部

TOKYO

*日本フィルのライブ・アーカイブ配信は
Member's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com



1 9月2日 にじクラ第11回

オルガン・プレコンサートから多くのお客様で賑うにじクラ。前橋汀子さんのお気に入りの歌謡曲を集めた『My Favorite Songs』などを角田鋼亮さんの指揮で。来年度も高橋克典さんのご案内が決定!楽しいトークと笑顔と音楽をお届けいたします!



2 9月5日 フレッシュ名曲コンサート

大井剛史マエストロのさわやかなタクトのもと、シベリウスのヴァイオリン協奏曲(Vn.水野琴音さん)、ドヴォルジャークの交響曲第9番《新世界より》を演奏。大井さん水野さんのトークも楽しく弾み、すてきな土曜の午後を荒川のお客さまと楽しみました



3 9月6日 芸劇シリーズ

千住真理子さんが日々磨き上げてきた音楽への情熱と、それを受け止めオケ全体を導いた大友直人マエストロ。満席のお客様とともに温かいコンサートとなりました。コンマスの田野倉雅秋も一緒にぱしゃり



4 9月11日、12日 東京定期演奏会*

アレクサンドル・ラザレフマエストロの代役として首席指揮者カーチュン・ウォンが重責を担いショスタコーヴィチ《レニングラード》をお届けいたしました。



5 9月19日 横浜定期演奏会
9月20日 杉並定期演奏会

21年ぶりの登場となったオッコ・カムさんでした!横浜定期終演後のシーズン・ファイナル・パーティではヴィオラの中川裕美子がカムさんに憧れていたことや、ソリストの河村尚子さんはラザレフさんとの九州公演での思い出もお話ししてくださいました。色々な思い出が蘇る公演となりました。



6 9月27日 コバケン・ワールド

毎回大人気のコバケン・ワールド。今回はソリストに周防亮介さんをお迎えして、ブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番、後半にベルリオーズの幻想交響曲をお届けしました。
周防さんのアンコールは、ご自身編曲による「山田耕筰:赤とんぼ」という素敵なプレゼント。

第786回東京定期演奏会

2026年 12月4日(金) 19:00開演
12月5日(土) 14:00開演
サントリーホール

プレトーク 井上 登喜子氏　金曜日／18:30〜 土曜日／13:20〜

助成：
文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

■1回券料金
S ¥9,500　A ¥8,000　B ¥7,000　C 完売　P ¥5,000　Ys（25歳以下）¥2,500
※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

TOKYO

圧倒的な音響とスケールで、知性も感性も動かされる!

レーガー：
ピアノ協奏曲 ヘ短調 op.114

ブラームス：
交響曲第2番 ニ長調 op.73



指揮：沖澤 のどか



ピアノ：阪田 知樹

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

沖澤 のどか編　　ききて　井上 登喜子

12月は新世代のマエストロ、沖澤のどかの登場に注目が集まる。日本フィルとの初共演（2021年）となったメンデルスゾーン《スコットランド》の名演を思い出す人も多いだろう。今回取り上げるブラームスの交響曲第2番は、沖澤にとって特別な作品。実は2020年に日本フィルと初共演する予定で選曲していたが、コロナ禍で中止となった。6年ぶりの実現となる。

「ブラームスの4つの交響曲の中で、第2番はいつも自分にとって一番自然な場所にある、とても大切な作品です。どこか解き放たれるような、心がほぐされるような曲なんです。今回のプログラムで、レーガーの大変な大作（かなり凝っていて激しい曲）の後に、ブラームスの第2番を置くのはとても良い対比であり、素晴らしい組み合わせだと思います」。

そのレーガー（1873-1916）は、自らをバッハ、ベートーヴェン、ブラームスというドイツ音楽の系譜に位置づけ、ブラームスの管弦楽作品等をピアノ独奏用に編曲するという敬愛ぶりだ。さらに、ブラームスとレーガーの間には興味深い共通点がある。それはドイツの都市マイニンゲンで育まれた音楽の伝統である。

「ブラームスはマイニンゲン宮廷楽長だったハンス・フォン・ビューローやその後任のフリッツ・シュタインバッハと交流があり、今日、ブラームスの交響曲を演奏する際には、『マイニンゲン（マイニンゲン宮廷楽団）の伝統』が半ば標準的な解釈のベースとして共有されています。この宮廷楽団はブラームスとの共同作業を通して『どのようにフレーズを作っていたか』という詳細な記録を残しているんです。私はベルリン・フィルでキリル・ペトレンコ氏のアシスタントをしていた時期にそれを知りました。ペトレンコさんがブラームスの交響曲第4番の演奏で『マイニンゲンの伝統』を取り入れているのを目の当たりにして、『これは日本のオーケストラでも取り組む価値がある』と感じました。

そしてレーガーはマイニンゲン宮廷楽団が解散する前の『最後の宮廷楽長』なのです。プログラムを組んだ後にその共通点に気づいたのですが、レーガーとブラームスが『マイニンゲン』という街を通して繋がっていたのは非常に面白い発見でした。本番までにさらに掘り下げたいと思っています」。

レーガーのピアノ協奏曲は滅多に演奏されない難曲。「音にするだけでも一苦労ですが、日本フィルとであれば『どう響かせたいか』という深いところまで掘り下げられると確信しています」。一方、「聴く側にとってはそれほど難しくないと思っています。長大ですが、ラフマニノフなどが好きな方なら絶対にハマる作品です」。

ソリストには若手実力派ピアニストの阪田知樹を迎える。「阪田さんは何でも弾ける才能とスケールの大きさを持っています。レーガーの作品は非常に濃密で、対位法的な部分や分析的な難しさがありますが、彼ならそれを全て理解した上で演奏してくれると確信し、『こんな機会はない、すぐやりましょう!』となりました。阪田さんは作曲もされる方で、オーケストラの音を非常によく聴いて演奏されるピアニストです。レーガーのコンチェルトは極めて交響的（シンフォニック）なので、阪田さん、日本フィルと共に音楽を探求していく時間が今から本当に楽しみです」。

プログラムを繋ぐ共通点もある。「今回、第2楽章がどちらの曲でも重要な鍵になると感じています。レーガーの第2楽章にはコラール（聖歌）が用いられており、激しさのあとの「祈り」がテーマになります。ブラームスの第2番も、明るく朗らかな表情の裏にある第2楽章の深みや温かい暗さがある——そこをしっかり音で表現できたら、間違いなく素晴らしい演奏になるでしょう。世界で様々な出来事が起こっている今だからこそ、レーガーの密度の濃い音の洪水と第2楽章の『祈り』、そしてブラームスの深い情緒は、今を生きる私たちの音楽としてリアルに響くはずです」。

沖澤、阪田と日本フィルが紡ぐ音楽は、私たちの耳を次の時代へと拓いてくれるものとなるだろう。まさに70周年に相応しいプログラムをサントリーホールで体験してほしい。

第422回横浜定期演奏会

422nd Yokohama Subscription Concert

2026年11月22日(日)15:00開演

横浜みなとみらいホール

3:00p.m., Sunday, 22nd November, 2026,
at Yokohama Minato Mirai Hall



オーケストラガイド 14:20〜

ふせ さくひこ
布施 砂丘彦氏

東京芸術大学卒業。コントラバスおよびヴィオローネ奏者、批評家、音楽プロデューサー。新聞、雑誌、ウェブメディアなどさまざまな媒体に寄稿。

ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番《皇帝》変ホ長調 op.73(約38分)

Ludwig van BEETHOVEN　Concerto for Piano and Orchestra No.5 "Emperor" in E-flat major, op.73

I Allegro
II Adagio un poco moto
III Rondo: Allegro

休憩(15分) Intermission

サン=サーンス 交響曲第3番《オルガン付き》ハ短調 op.78(約40分)

Camille SAINT-SAËNS　Symphony No.3 "Organ" in C-minor, op.78

I Adagio - Allegro moderato
Poco adagio
II Allegro moderato - Presto
Maestoso - Allegro

11月23日(月)から
アーカイブ配信予定!

Member's TVU CHANNEL
にて配信
https://members.tvu.com

詳細はP19へ

指揮 Conductor	カーチュン・ウォン[首席指揮者] Kahchun WONG, Chief Conductor
ピアノ Piano	サー・スティーヴン・ハフ Sir Stephen HOUGH
オルガン Organ	長井 浩美 NAGAI Hiromi
コンサートマスター Concertmaster	田野倉 雅秋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター] TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

主 催／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団　助 成／文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会
表紙イラスト／ 小澤 一雄
後 援／駐日シンガポール共和国大使館、tvk(テレビ神奈川)
協 力／横浜みなとみらいホール

Conductor 指揮

カーチュン・ウォン[首席指揮者]

Kahchun WONG, Chief Conductor



©Ayane Sato

シンガポール生まれのカーチュン・ウォンは、舞台におけるその圧倒的な存在感と東西の音楽的遺産を探求し続ける思慮深さにおいて国際的に高い評価を得ている。2023年より日本フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者、そして2024年にサー・マーク・エルダーの後任として英国の名門オーケストラ、ハレ管弦楽団の首席指揮者兼芸術顧問に就任。2025年夏、英国タイムズ紙が「最高となる五つ星を超えた六つ星に値する」と絶賛したハレ管弦楽団とマーラー交響曲第2番《復活》でのBBCプロムスへの鮮烈なデビュー公演は記憶に新しい。

2016年マーラー国際指揮者コンクールでの優勝以来、ウォンはニューヨーク・フィルハーモニック、クリーヴランド管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする世界有数のオーケストラに客演。

現代作曲家と異文化対話の積極的な推進者でもあるウォンはニューヨーク・フィルハーモニックとタン・ドゥン《火の儀式》の米国初演、BBC交響楽団と細川俊夫《祈る人》の英国初演を指揮、またドレスデン・フィル首席客演指揮者時代にはナロン・プランチャルーン《影の反映》を委嘱している。ニュルンベルク交響楽団首席指揮者としての最終公演ではムソルグスキー《展覧会の絵》を五種類の中国民族楽器とオーケストラのためウォン自身が再構築し「クラシック・オープン・エア音楽祭」で75,000人の聴衆の前にて披露された演奏はドイツ語圏公共放送チャンネルおよびバイエルン放送を通じて国際的に放送された。

日本フィルとマーラー交響曲第5番、ハレ管弦楽団とブリテン《パゴダの王子》、ブルックナー交響曲第9番、マーラー交響曲第2番《復活》の録音がリリースされている。


©Sim Canetty-Clarke

Piano
ピアノ

サー・スティーヴン・ハフ
Sir Stephen HOUGH

イギリスのエコノミスト誌により「現存する20人のポリマス」の一人に選ばれたサー・スティーヴン・ハフは、ピアニストとしての卓越した経歴に加え、作曲家、作家としても幅広く活動している。クラシック演奏家として初めてマッカーサー・フェローシップを受賞し、2022年には音楽への功績によりナイトの称号を授与された。

これまでに、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ブダペスト祝祭管弦楽団、NHK交響楽団など、数多くのオーケストラと共演。2026/27シーズンには、クラウス・マケラ指揮パリ管弦楽団、サー・サイモン・ラトル指揮バイエルン放送交響楽団をはじめ、世界の主要オーケストラや指揮者と共演する。キッシンガー・ゾンマー音楽祭に初登場するほか、自作のピアノ協奏曲《The World of Yesterday》のドイツ初演をデュッセルドルフ交響楽団と行う。2026年10月から11月にかけては大規模なアジア・パシフィック・ツアーを行い、オーストラリア各都市、香港、ソウルでリサイタルを開催するほか、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団、ニュージーランド交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団などと協奏曲で共演する。

70点を超える幅広いディスコグラフィーは、ディアパゾン・ドール賞をはじめ、複数回のグラミー賞ノミネート、「レコード・オブ・ザ・イヤー」および「ゴールド・ディスク」を含む8度のグラモフォン賞など、数々の栄誉に輝いている。近年のリリースには、2026年に発表されたアルバム『Stephen Hough's Piano Postcards』があり、世界各地で親しまれている名旋律を、遊び心にあふれたピアノ作品として新たに描き出している。

現在、ロイヤル・ノーザン・カレッジ・オブ・ミュージック（RNCM）ではピアノ部門のインターナショナル・チェアおよびコンパニオンを務めるほか、ニューヨークのジュリアード音楽院でも教鞭を執っている。2027年に開催されるリーズ国際ピアノ・コンクールの芸術監督兼審査委員長に就任。

各種公演・レコーディングでヤマハコンサートグランドピアノCFXを愛用。

解説：小宮 正安

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 変ホ長調 op.73

作曲は、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン（1770-1827）30歳代の後半にあたる1808年から09年にかけて。『交響曲第5番』（通称《運命》）や『交響曲第6番《田園》』など、「傑作の森」と呼ばれる、彼の爆発的な創作期の最後期にあたる。

1809年といえば、ベートーヴェンの本拠地であるウィーンがナポレオン・ボナパルト（1769-1821）率いるフランス軍による2度目の占領を経験した年である（1度目は1805年）。またそうした事情から、初演そのものは1811年11月28日、ウィーンから遠く離れたライプツィヒでおこなわれ、ベートーヴェン自身も立ち会うことがなかった。ようやくウィーンで最初にこの曲が上演されたのは1812年2月11日のこと。ベートーヴェンの弟子であるカール・チェルニー（1791-1857）がピアノ独奏を務めている。

なおこの頃からベートーヴェンは、『交響曲第7番』（作曲は1811-12年）等に聴かれるように、リズムに溢れた祝祭的な作品を多数書くようになる。「傑作の森」の時代にしばしば書かれた、「暗から明へ」あるいは「闘争を経て勝利に至る」という、彼自身が打ち立てた作品の展開パターンを越えてゆくかのように。

たしかにこのピアノ協奏曲にも、これまでのベートーヴェンが書いた同ジャンルの作品以上に、明るさや躍動感が満ちている。それがいきなり発揮されるのが、第1楽章の幕開け。ピアノ独奏で協奏曲が始まるというパターンは、『ピアノ協奏曲第4番』でも実践済みだが、『ピアノ協奏曲第5番』では「ジャーン」というオーケストラの華々しい和音に先導され、華麗なピアニズムが炸裂する。しかも変ホ長調という調性は元々、英雄や君主の凱旋を象徴する輝かしさを具えていると考えられてきた（だからこそ「皇帝」という愛称が生まれたのだが、これはベートーヴェン自身の命名ではない。）

あるいは第2楽章。同じ2番目の楽章であっても、『第4番』では不安と悲哀に満ちた響きが溢れていたが、『第5番』には平安と憧れに満ち満ちている。そしてこの至福の楽章は途切れることなく、躍動感に溢れたフィナーレの第3楽章へと続き、しかもこの楽章の最後はティンパニとピアノの掛け合いが耳を奪う。

奇しくもウィーンでこの協奏曲が鳴り響いた1812年は、「フランス皇帝」として現世を謳歌したナポレオンが失脚への道を辿り始めた年。それに代わるように、「皇帝」の愛称を戴くことになる『ピアノ協奏曲』が華々しく登場した。

【第1楽章】 アレグロ（生命力に満ちて）
【第2楽章】 アダージョ・ウン・ポコ・モッソ（ゆったりと　少し動きをつけて）
【第3楽章】 ロンド　アレグロ（生命力に満ちて）

楽器編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部

サン＝サーンス：交響曲第3番《オルガン付き》ハ短調 op.78

フランス生まれのカミーユ・サン=サーンス(1835-1921)は、幼い頃からモーツァルトの再来のような神童ぶりを発揮。しかも大人になってからもただの人とならず、ピアノやオルガンの演奏に優れた腕前を発揮するとともに、作曲にも大いに才能を発揮した。

そんなサン＝サーンスは、若い頃(1859年まで)に5曲も交響曲を書き上げたが、実はそのうち3曲は出版されなかった。そしてそれから30年あまりの歳月を経て、番号が付けられた＝作曲者自身によって公式な作品と認められた交響曲としては3番目の作品が生まれる。51歳の年に完成された『交響曲第3番』、通称「オルガン付き」である。

『交響曲第3番』は、ヨーロッパ大陸の名だたる音楽家に新作委嘱をおこなっていたロンドンのフィルハーモニック協会からの依頼により、1885年から86年にかけて作曲された。ちなみにサン=サーンスは、それに先立つ1871年にロンドンのアルバート・ホールでオルガンを演奏。卓越した腕前を英国の聴衆に披露したことから、この話が来たのだろう。

『交響曲第3番』の特徴として、オルガンと4手ピアノを加えた大編成の管弦楽の織り成す色彩感豊かで荘厳な響き、つまり文字通り「交＜響＞曲」の醍醐味を挙げられる。また一般的な交響曲の4楽章分(アレグロ楽章～緩徐楽章～スケルツォ～フィナーレ)を2つの楽章に統合し、冒頭で呈示される主題を中心に全曲を構成する"循環形式"が導入されている。

なおこの主題だが、カトリックの葬儀の際に歌われるグレゴリオ聖歌の『怒りの日』の断片である。さらにそれが、弦楽器を中心にざわめくように演奏される点は、不治の病を抱えていたフランツ・シューベルト(1797－1828)の書いた「未完成交響曲」第1楽章の主部の出だしを彷彿させる。つまり両者ともに「死の厳粛さ」がテーマになっている。

だが様々な紆余曲折を経た末、交響曲の結論部分ともいえる第2楽章後半の冒頭には、モーツァルトの作品にしばしば用いられた「ドレファミ」という音型(いわゆる「ジュピター音型」)が登場。どこまでも輝かしく壮麗な響きが、死を超えた新たな生の希望へと聴き手を誘う。そして最後は、西洋音楽史を彩る様々な素材が混然一体となり、「ドシラファミレド」の音階の中にすべてが解決。そこに溢れているのは、元々教会にゆかりの楽器だったオルガンの響きを伴った、演奏会場を瞬時に聖なる空間へと変容させてしまう音楽の魔法に他ならない。

【 第1楽章 】 アダージョ(ゆったりと)～アレグロ・モデラート(快活に 節度をもって)、ポコ・アダージョ(少しゆったりと)

【 第2楽章 】 アレグロ・モデラート(快活に 節度をもって)～プレスト(速く)、マエストーソ(荘厳に)～アレグロ(快活に)

楽器編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、トライアングル、ピアノ(連弾)、オルガン、弦楽5部

サン＝サーンス『交響曲第3番』の新機軸

本日のプログラムの後半に演奏されるサン＝サーンスの『交響曲第3番』。解説でも書いたように、オルガンがそれぞれの楽章の後半に大活躍することから、「オルガン付き」とも呼ばれている。じっさい今回の演奏会では、横浜みなとみらいホールの舞台正面に据えられた堂々たるオルガン(愛称「ルーシー」)が、その壮麗な音を日本フィルとともに奏でることだろう。

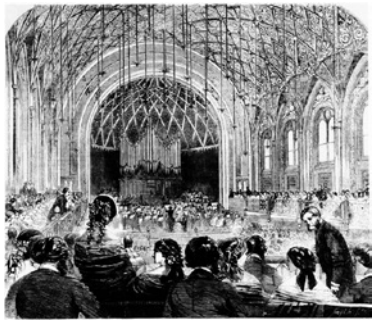
だが、そもそも西洋音楽の歴史を辿ると、横浜みなとみらいホールのように演奏会に特化したコンサートホールが姿を現し始めるのは18世紀も終わりになってからのこと。それまでは、宮殿や劇場、さらにはレストランや集会場等で演奏会が開かれるのが当たり前だった。またそうした場所の中央に、オルガンが設置されるはずもない。

しかもオルガンと言えば、教会の楽器というイメージが強い。実際16世紀になると「聖なる場」としての教会にふさわしい「聖なる楽器」として、広くオルガンの存在が認められるようになった。

なお伝統的な教会の建築では、オルガンは教会の入り口のすぐ上に設えられたバルコニーに設置されている。またその前に、合唱やオーケストラが配置され、礼拝用の音楽が奏でられる。なぜかといえば、音楽が会衆の頭上から降り響くことで、神の声のように聞こえるから。

ただしそれらの会衆が、オルガン・バルコニーに陣取った音楽家の姿を見ることはない。彼らはそちらには背を向けて座っているためであり、あくまで視野に入って来るのは祭壇、さらにはそこで礼拝を司る聖職者たちだからだ。

だが、厳しい上下関係に縛られた社会が市民革命等によって崩れてゆくと、音楽家を「メイン」の存在とし、彼らの奏でる音楽をこそ聖なるものとして崇めようという傾向が生まれてゆく。またそうした中で生まれたのが、オルガンを正面に配したコンサートホールであり、このような空間を想定して書かれた作品こそがサン＝サーンスの『交響曲第3番』だった。



サン＝サーンスの『交響曲第3番』が初演されたロンドンのセント・ジェームズ・ホール。舞台奥の中央に巨大なオルガンが見える。1858年。▶

NEXT CONCERT
〉〉次回横浜定期演奏会

第423回横浜定期演奏会

2026年12月19日(土) 15:00開演
横浜みなとみらいホール

オーケストラガイド 小宮 正安氏

助成：
文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

■1回券料金
S ¥10,000　A ¥9,000　B ¥7,500　C ¥6,000　P 合唱団　Ys（25歳以下）¥4,000
※Ys席：25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。
※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

YOKOHAMA

J.S.バッハ：
暁の星のいと美しきかな
BWV739
羊は安らかに草を食み
BWV208-9
トッカータとフーガ
ニ短調 BWV565
（以上3曲オルガン独奏）



指揮：阪 哲朗


オルガン：
勝山 雅世



ソプラノ：
隠岐 彩夏



カウンターテナー：
藤木 大地



テノール：
小堀 勇介



バリトン：
池内 響

ベートーヴェン：
交響曲第9番《合唱》
ニ短調 op.125

心震わす歓喜の歌とともに、新しい年へ

一年の締めくくりにふさわしい、ベートーヴェンの「交響曲第9番《合唱》」。日本フィルの伝統のひとつとして、多くのお客様に親しまれてきた"第九"は、単なる年末行事ではなく、希望と連帯を力強く歌い上げる、時代を超えるメッセージそのものです。

指揮を務めるのは、精緻かつ真摯な音楽づくりに定評のある阪哲朗。そして舞台を彩るソリストには、今まさに脚光を浴びる若き精鋭――隠岐彩夏（ソプラノ）、藤木大地（カウンターテナー）、小堀勇介（テノール）、池内響（バリトン）という綺羅星のような才能が一堂に会します。時代と心を超えて人々を繋ぐ、12月にしか味わえない特別な「歓喜の瞬間」を、どうぞお聴き逃しなく。日本フィルの濃密なサウンドに包まれながら、音楽とともに心洗われるひとときをお過ごしください。

Member's TVU CHANNEL
CLASSICAL MUSIC
クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1コンテンツにつき 1,000円です。
特に記載のない場合、販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です。公演によって、全曲配信できない場合もございますので、サイト上で配信内容と期間をご確認の上ご購入ください。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

第413回 名曲コンサート　2026年5月17日(日)　11/16まで販売
指揮：藤岡 幸夫
シベリウス：交響詩《フィンランディア》　チャイコフスキー：交響曲第5番　ベルリオーズ：幻想交響曲

第782回 東京定期演奏会　2026年7月10日(土)
指揮：フランソワ・ルルー
プロコフィエフ：交響曲第5番

第783回 東京定期演奏会　2026年9月11日(金)
指揮：カーチュン・ウォン
ショスタコーヴィチ：交響曲第7番《レニングラード》

第157回 さいたま定期演奏会　2026年9月26日(土)
指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］　ヴァイオリン：周防 亮介
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番　ベルリオーズ：幻想交響曲

第784回 東京定期演奏会　2026年10月16日(金)
指揮：山田 和樹
間宮芳生：二重合奏協奏曲　チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》

第415回 名曲コンサート　2026年10月24日(土)　11/23まで販売
指揮：カーチュン・ウォン　ピアノ：務川 慧悟　打楽器：ベンジャミン・ウー*
笛子：リー・チンツン*　扬琴：マ・ファン*　胡琴：タン・マンマン*　琵琶：ワン・スーウェン*
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番　ムソルグスキー（カーチュン・ウォン編曲）：組曲《展覧会の絵》

第264回 芸劇シリーズ　2026年11月1日 (日)
指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
オーボエ：杉原 由希子［首席奏者］　クラリネット：伊藤 寛隆［首席奏者］
ホルン：信末 碩才［首席奏者］　ファゴット：田吉 佑久子［首席奏者］
モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136
モーツァルト：協奏交響曲 変ホ長調（オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための）K.297b
ベートーヴェン：交響曲第7番

第785回 東京定期演奏会　2026年11月13日 (金)　11/16からアーカイブ配信
指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
スメタナ：連作交響詩《我が祖国》

YOKOHAMA

すべての人に音楽を―日本フィルの活動―▶

地域をつなぐ音楽のちから

音楽がそばにあること――「被災地に音楽を」

音楽には、人の心を癒し、勇気づけるちからがあります。言葉では言い尽くせない想いや、かたちには残らない感情にそっと寄り添う、その瞬間にしか生まれない音楽の力を、困難な状況にある人たちのもとへ届けたい。そんな思いから、日本フィルは「被災地に音楽を」という活動に取り組んでいます。

阪神・淡路大震災（1995年）での訪問をはじまりに、熊本地震（2016年）、西日本豪雨（2018年）など、地震や水害などで被災した地域に演奏家が赴き、音楽を通して心を癒し、地域の方々との交流を育んできました。なかでも2011年の東日本大震災以降、東北との関わりは特に深く、これまでに延べ400回を超える訪問演奏を重ねてきました。

東北での活動を続ける中で見えてきたのは、震災直後の「心のケア」だけでなく、「文化芸術に触れる機会」や「地域住民同士・外部との交流」、「現地からの情報発信」など、多様で継続的な文化活動へのニーズの高まりでした。2017年には文化庁の「戦略的芸術文化創造推進事業」に採択され、調査研究を経てこうした声が明らかになったことが、次の一歩を踏み出す大きなきっかけとなりました。

「被災地に音楽を」から「東北の夢プロジェクト」へ――子どもたちと未来をつくる

調査結果を踏まえ、地域の新たなニーズに応えるべく立ち上げたのが「東北の夢プロジェクト」です。子どもたちの夢と笑顔、そして地域の文化を未来へとつなぐことを目的に、東北各地の合唱団、吹奏楽、郷土芸能などに取り組む子どもたちとともにコンサートを行っています。

2026年も、岩手県と福島県でそれぞれ実施しました。岩手では盛岡市にて公演を開催。盛岡市立山岸小学校合唱クラブ、なもみ太鼓の会（野田村）が出演し、伝統芸能と音楽が融合するステージとなりました。一方、福島では南相馬・いわき絆シンフォニック・バンド（南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部／いわき市立平第三中学校吹奏楽部）と、福島県合唱連盟いわき支部中学校特設合唱団との共演が実現。全ての団体と事前に交流プログラムを設け、演奏家と地域の子どもたちが心を通わせながら本番に臨みました。

本番当日には「共演者交流セレモニー」を実施。関係者全員が一堂に会し、心をひとつにする時間を共有しました。子どもたちの真剣な眼差しが、多くの大人の心を動かしました。

日本フィルはこれからもこれまで以上に地域と一体となり、東北地方の更なる復興の後押しを目指すとともに、地域の文化芸術振興やコミュニティの活性化、子どもたちの健全な育成など、様々な取り組みを推進していきます。
皆様のさらなるご理解とご協力を、心からお願い申し上げます。

各団体の詳細はこちら▼

これまでの活動についてはこちらからご覧いただけます。

被災地に音楽を▶　東北の夢プロジェクト▶













全国保証株式会社
for your dream and happiness

私たちは日本フィル「東北の夢プロジェクト」を応援しています。

全国保証株式会社は1981年に設立された、住宅ローン保証を中核とした信用保証事業を全国で展開する国内最大手の独立系保証会社です。
全国各地の金融機関と連携し、多くのお客様のニーズや要望に応えています。
https://www.zenkoku.co.jp

今後の日本フィル出演公演

2026年11月〜12月

2026	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
11月	第415回名曲コンサート サントリーホール 21[土]14:00	指揮：カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ：サー・スティーヴン・ハフ ベートーヴェン： ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス： 交響曲第3番《オルガン付き》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第422回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 22[日]15:00		
	落合陽一×日本フィル プロジェクトVol.10 《離見する音楽会》 横浜能楽堂 23[月・祝]14:00／17:00	演出：落合 陽一 日本フィルハーモニー交響楽団メンバー ヴァイオリン： 田野倉 雅秋[ソロ・コンサートマスター]　他	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第84回杉並定期演奏会 杉並公会堂 26[木]15:00	指揮：松本 宗利音 ヴァイオリン：大江 馨 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ブラームス：交響曲第1番	お問い合わせ： 杉並公会堂
	東京室内楽定期 Vol.2 ヤマハホール 29[日]14:00	クラリネット：照沼 夢輝 ヴァイオリン： 扇谷 泰朋[ソロ・コンサートマスター]、 太田 麻衣、田村 昭博、大貫 聖子、 末廣 紗弓、町田 匡 ヴィオラ： 江藤 史織、児仁井 かおり、中川 裕美子 チェロ： 門脇 大樹[ソロ・チェロ]、石崎 美雨 コントラバス：宮坂 典幸 ブルッフ：弦楽八重奏曲 変ロ長調　他	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
12月	第786回東京定期演奏会 サントリーホール 4[金]19:00 5[土]14:00	指揮：沖澤 のどか ピアノ：阪田 知樹 レーガー：ピアノ協奏曲 ブラームス：交響曲第2番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	フロイデ合唱団 第26回 第九演奏会 東京芸術劇場 6[日]14:00	指揮：小松 長生　ソプラノ：安藤 赴美子 メゾソプラノ：林 美智子 テノール：西村 悟　バリトン：大西 宇宙 ブラームス：大学祝典序曲 ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》	お問い合わせ： フロイデ合唱団

2026	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
12月	宇都宮第九合唱団 第45回演奏会 宇都宮市文化会館　大ホール 12[土]15:30	指揮：出口 大地 ソプラノ：上田 純子 メゾソプラノ：増田 弥生 テノール：大槻 孝志 バリトン：甲斐 栄次郎 ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》　他	お問い合わせ： 宇都宮第九合唱団
	さいたま「第九」演奏会 2026 ソニックシティ 18[金]19:00	指揮：阪 哲朗　ソプラノ：隠岐 彩夏 カウンターテナー：藤木 大地 テノール：小堀 勇介　バリトン：池内 響 合唱：埼玉第九合唱団 「阪哲朗と小宮正安によるプレトーク」 ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》	日本フィルeチケット♪
	第九特別演奏会2026 阪 哲朗 指揮 19[土]15:00 横浜みなとみらいホール 20[日]14:00 予定枚数終了 サントリーホール	指揮：阪 哲朗　オルガン：勝山 雅世* ソプラノ：隠岐 彩夏 カウンターテナー：藤木 大地 テノール：小堀 勇介　バリトン：池内 響 合唱：東京音楽大学合唱団（12/19）、 日本フィルハーモニー協会合唱団（12/20） J.S.バッハ： 暁の星のいと美しきかな BWV739、 羊は安らかに草を食み BWV208-9、 トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 （以上3曲オルガン独奏*） ベートーヴェン： 交響曲第9番《合唱》 ニ短調 op.125	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第九特別演奏会2026 小林 研一郎 指揮 23[水]19:00 東京芸術劇場 26[土]14:00 横浜みなとみらいホール 27[日]14:00 予定枚数終了 サントリーホール 28[月]19:00 東京芸術劇場	指揮：小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] オルガン：石丸 由佳*　ソプラノ：小川 栞奈 メゾソプラノ：山下 牧子 テノール： 笛田博昭（12/23-27）、錦織健（12/28） バリトン：寺田功治 合唱： 東京音楽大学（12/23）、 武蔵野合唱団（12/27）、 日本フィルハーモニー協会合唱団（12/26、28） J.S.バッハ：前奏曲 ハ長調 BWV531、 小フーガ ト短調 BWV578、 トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 （以上3曲オルガン独奏*） ベートーヴェン交響曲第9番《合唱》	

日本フィル・サービスセンター TEL：03-5378-5911［平日10時-17時］
日本フィルeチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。japanphil.or.jp

日本フィルハーモニー交響楽団
2027-2028 東京定期演奏会

会場／東京芸術劇場（4月、5月、7月）
東京オペラシティコンサートホール（6月）
サントリーホール（9月〜12月）
金曜日／19:00開演
（4月・5月のみ日曜日開催）
土・日／14:00開演

[春夏]

2027 4 April
【第789回】 東京芸術劇場
24日(土)14:00、**25日(日)**14:00
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］
ヴァイオリン：米元 響子
R.シュトラウス：交響詩《ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら》
尾高惇忠：ヴァイオリン協奏曲
フランク：交響曲 ニ短調

2027 5 May
【第790回】 東京芸術劇場
15日(土)14:00、**16日(日)**14:00
【1回券】 S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：大植 英次
メンデルスゾーン：交響曲第4番《イタリア》
ベルリオーズ：序曲《ローマの謝肉祭》
レスピーギ：交響詩《ローマの祭り》

2027 6 June
【第791回】 東京オペラシティコンサートホール
11日(金)、12日(土)
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 Ys席 ¥2,500
指揮：沼尻 竜典 ピアノ：牛田 智大
アッテルベリ：ヴァイオリン、ヴィオラ、弦楽オーケストラのための組曲第3番（ヴァイオリン独奏：扇谷泰朋、ヴィオラ独奏：安達真理）
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲
ニールセン：交響曲第4番《不滅》

2027 7 July
【第792回】 東京芸術劇場
9日(金)、10日(土)
【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：クリストフ・コンツ
ベートーヴェン：《レオノーレ》序曲第3番
ワーグナー（マゼール編）：言葉のない《指環》

2027 9 September
【第793回】 サントリーホール
10日(金)、11日(土)
【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］
桑原ゆう：委嘱作品（世界初演）
マーラー：交響曲第7番《夜の歌》

[秋冬]

2027 10 October
【第794回】 サントリーホール
15日(金)、16日(土)
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］ ピアノ：清水 和音
メンデルスゾーン：序曲《フィンガルの洞窟》
グリーグ：ピアノ協奏曲
シベリウス：交響曲第2番

2027 11 November
【第795回】 サントリーホール
26日(金)、27日(土)
【1回券】 S席 ¥11,000 A席 ¥9,500 B席 ¥8,000 C席 ¥6,500 P席 合唱団席 Ys席 ¥2,500
指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］ ソプラノ：三宅 理恵
テノール：マーク・パドモア バリトン：ベンヤミン・アップル
合唱：晋友会合唱団 児童合唱：杉並児童合唱団
ブリテン：戦争レクイエム

2027 12 December
【第796回】 サントリーホール
3日(金)、4日(土)
【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮・オーボエ：フランソワ・ルルー
R.シュトラウス：13管楽器のためのセレナード
フンメル：オーボエと管弦楽のための序奏、主題と変奏曲
プロコフィエフ：交響曲第1番《古典交響曲》
ベートーヴェン：交響曲第8番

2028 1 January
【第797回】 サントリーホール
21日(金)、22日(土)
【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：山田 和樹
ヴァイオリン：扇谷 泰朋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
アイネム：フィラデルフィア交響曲 コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲
J.シュトラウスII世：喜歌劇《こうもり》序曲
R.シュトラウス：歌劇《ばらの騎士》組曲

2028 3 March
【第798回】 サントリーホール
3日(金)、4日(土)
【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］
マーラー：交響曲第10番 嬰ヘ長調より「アダージョ」
ブルックナー：交響曲第4番《ロマンティック》

年　間　2026年12月16日［水］発売
S席 ¥59,000 A席 ¥49,000 B席 ¥43,000 C席 ¥36,000 P席 ¥24,000（全8回） Ys席 ¥15,000

半期春夏
サントリーホール休館につき、新規募集は行いません。

半期秋冬　2027年6月17日［木］発売
S席 ¥35,000 A席 ¥30,000 B席 ¥26,000 C席 ¥21,000 P席 ¥14,000（全4回） Ys席 ¥9,000

春夏【1回券】 2027年 1月26日（火）発売
秋冬【1回券】 2027年 7月13日（火）発売

日本フィルハーモニー交響楽団
2027-2028 横浜定期演奏会

会場／横浜みなとみらいホール
土・日曜日／15:00開演
（5月のみ日曜日開催）

[春夏]

2027 4 April
【第426回】
17日(土)
【1回券】 S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,500
指揮：碇山 隆一郎
ピアノ：金子 三勇士
ドヴォルジャーク：序曲《謝肉祭》
プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番
メンデルスゾーン：交響曲第3番《スコットランド》

2027 5 May
【第427回】
9日(日)
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：大植 英次 ピアノ：大西 順子
ジョン・アダムズ：ショート・ライド・イン・ア・ファスト・マシーン
ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー
ドヴォルジャーク：交響曲第9番《新世界より》

2027 6 June
【第428回】
5日(土)
【1回券】 S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,500
指揮：下野 竜也 チェロ：門脇 大樹［日本フィル・ソロ・チェロ］
フンパーディンク：歌劇《ヘンゼルとグレーテル》より
「夕べの祈り」〜「天使のマイム（夢のパントマイム）」
シューマン：チェロ協奏曲
ブラームス：交響曲第4番

2027 7 July
【第429回】
3日(土)
【1回券】 S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,500
指揮：西本 智実
ポンキエッリ：歌劇《ジョコンダ》より「時の踊り」
ムソルグスキー（リムスキー＝コルサコフ編曲）：交響詩《はげ山の一夜》
デュカス：交響詩《魔法使いの弟子》
ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲《展覧会の絵》

2027 9 September
【第430回】
18日(土)
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］
ヴァイオリン：セルゲイ・クリーロフ
早坂文雄：古代の舞曲
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番
ベートーヴェン（マーラー補筆版）：交響曲第5番《運命》

[秋冬]

2027 10 October
【第431回】
23日(土)
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］
チェロ：ヤン・フォーグラー
ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第1番
ショスタコーヴィチ：交響曲第10番

2027 11 November
【第432回】
20日(土)
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］ ヴァイオリン：木嶋 真優
グリンカ：歌劇《ルスランとリュドミラ》序曲
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
ベートーヴェン：交響曲第6番《田園》

2027 12 December
【第433回】
18日(土)
【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥9,000 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 合唱団席 Ys席 ¥4,000
指揮：尾高 忠明 ソプラノ：伊藤 晴 メゾソプラノ：但馬 由香
テノール：澤﨑 一了 バリトン：大西 宇宙 合唱：調整中
ベートーヴェン：《エグモント》序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

2028 1 January
【第434回】
29日(土)
【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］ ピアノ：桑原 志織
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番
プロコフィエフ：バレエ音楽《ロメオとジュリエット》
（カーチュン・ウォン抜粋版）

2028 3 March
【第435回】
25日(土)
【1回券】 S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500
指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］
ピアノ：阪田 知樹
ガーシュウィン：ピアノ協奏曲 ヘ調
ベルリオーズ：幻想交響曲

年　間　2026年12月16日［水］発売
S席 ¥57,000 A席 ¥47,000 B席 ¥41,000 C席 ¥34,000 P席 ¥27,000（全9回） Ys席 ¥15,000

半期春夏　2026年12月16日［水］発売
S席 ¥32,000 A席 ¥27,000 B席 ¥23,000 C席 ¥19,000 P席 ¥17,000 Ys席 ¥9,000

半期秋冬　2027年6月17日［木］発売
S席 ¥34,000 A席 ¥29,000 B席 ¥25,000 C席 ¥21,000 P席 ¥14,000（全4回） Ys席 ¥9,000

春夏【1回券】 2027年 1月26日（火）発売
秋冬【1回券】 2027年 7月13日（火）発売

【お問い合わせ・お申込み】 日本フィル・サービスセンター TEL：03-5378-5911（平日10時〜17時）

第九特別演奏会2026

指揮:阪 哲朗


©Takashi Imai

2026年
12/19(土)15:00 残席僅少
横浜みなとみらいホール
(第423回横浜定期演奏会)

12/20(日)14:00 予定枚数終了
サントリーホール

オルガン:勝山 雅世*
ソプラノ:隠岐 彩夏
カウンターテナー:藤木 大地
テノール:小堀 勇介
バリトン:池内 響
合唱:東京音楽大学(12/19)、
日本フィルハーモニー協会合唱団
(12/20)

J.S.バッハ:
暁の星のいと美しきかな BWV739
羊は安らかに草を食み BWV208-9
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
(以上3曲オルガン独奏*)
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]


©山本 倫子

2026年
12/23(水)19:00
東京芸術劇場

12/26(土)14:00 残席僅少
横浜みなとみらいホール

12/27(日)14:00 予定枚数終了
サントリーホール

12/28(月)19:00 残席僅少
東京芸術劇場

オルガン:石丸 由佳*
ソプラノ:小川 栞奈
メゾソプラノ:山下 牧子
テノール:笛田 博昭(12/23-27)
錦織 健(12/28)
バリトン:寺田 功治
合唱:東京音楽大学(12/23)
武蔵野合唱団(12/27)、
日本フィルハーモニー協会合唱団
(12/26、28)

J.S.バッハ:
前奏曲 ハ長調 BWV531
小フーガ ト短調 BWV578
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
(以上3曲オルガン独奏*)
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

S席 ¥10,000　A席 ¥9,000　B席 ¥7,500　C席 ¥6,000　P席 合唱団
Ys席(25歳以下)¥4,000　Gs席(70歳以上)¥6,000(12/19を除く)

【お申込み・お問い合わせ】日本フィルeチケット♪[席を選んでお申込できます] https://eticket.japanphil.or.jp
日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日10時～17時)

カーチュン・ウォン今後の公演


©Ayane Sato

第424回横浜定期演奏会 New Year Concert2027

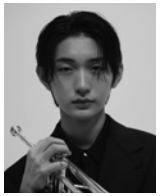
2027年1月9日(土)15:00　横浜みなとみらいホール

第267回芸劇シリーズ New Year Concert2027

2027年1月10日(日)14:00　東京芸術劇場

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]
トランペット:児玉 隼人

ハチャトゥリアン:組曲《仮面舞踏会》
ハイドン:トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIIe:1
J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇《こうもり》序曲
J.シュトラウスⅡ世:ワルツ《美しく青きドナウ》op.314
ラヴェル:《ダフニスとクロエ》第2組曲


©Yuji Ueno

1/9公演	S席 ¥9,500　A席 ¥8,000　B席 ¥7,000　C席 ¥6,000　P席 完売 Ys席(25歳以下) ¥2,500
1/10公演	S席 ¥8,500　A席 ¥7,000　B席 ¥6,000　C席 ¥5,000　D席 ¥3,500 Gs席(70歳以上) ¥5,000　Ys席(25歳以下) ¥2,500

第787回東京定期演奏会

2027年1月29日(金)19:00、30日(土)14:00　東京芸術劇場

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]
ブルックナー:交響曲第8番 ハ短調 WAB108(ノヴァーク版)

S席 ¥10,000　A席 ¥8,500　B席 ¥7,500　C席 完売　P席 ¥5,000　Ys席(25歳以下) ¥2,500

第425回横浜定期演奏会

2027年3月27日(土)15:00　横浜みなとみらいホール

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]
ヴァイオリン:田野倉 雅秋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

ボロディン:歌劇《イーゴリ公》序曲
ハチャトゥリアン:ヴァイオリン協奏曲 ニ短調
ムソルグスキー(リムスキー=コルサコフ編曲):交響詩《はげ山の一夜》
レスピーギ:交響詩《ローマの松》

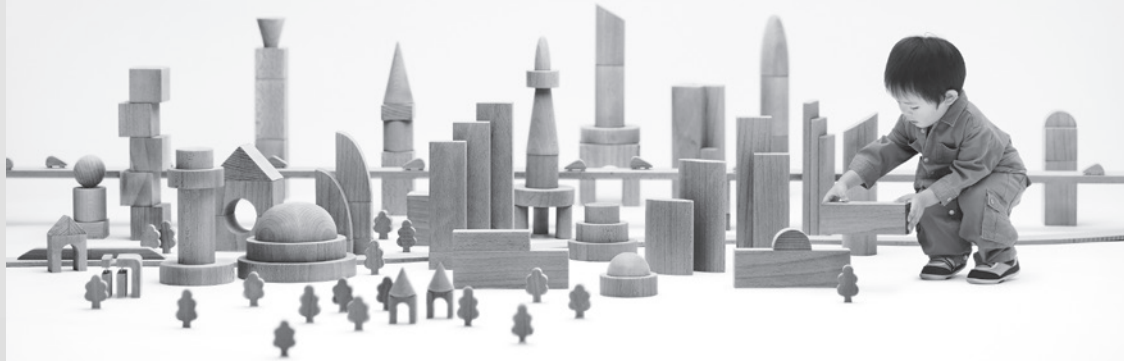

©井村 重人

S席 ¥9,500　A席 ¥8,000　B席 ¥7,000　C席 ¥6,000　P席 完売　Ys席(25歳以下) ¥2,500



株式会社 ウ テ ナ
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22
お客様相談室 0120-305411　www.utena.co.jp

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

解体ってただ壊せばいいって
わけじゃないんです。

だから解体は TANAKEN



TANAKEN

TANAKEN株式会社

〒105-7309
東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階
TEL:03-6264-5520 FAX:03-6264-6405

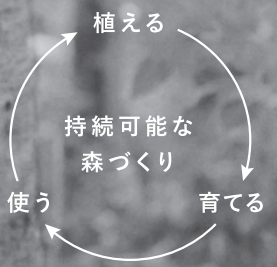
コーポレートサイト

ブランドサイト

ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得
ISO 45001:2018 認証取得

木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんですね。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植える→育てる→使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん

◀三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう
三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

三井不動産グループ保有林　北海道　深川市湯内

ストーリーを変える、
ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform Tomorrow Today





最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株) 京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間約140回のオーケストラ公演を中心に多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となり、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　石塚 邦雄

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額
をメール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

その他右ページもご覧ください。

■オンライン寄付

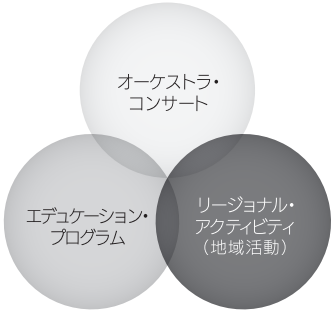
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右の二次元コードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする**《オーケストラ・コンサート》**
音楽との出会いを広げる**《エデュケーション・プログラム》**
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

パトロネージュ

内田 博之　東京都 ／ 太田 信之　東京都 ／ 杉村 修　東京都 ／ 中澤 祐一　神奈川県

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。宛先は左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。
寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。
お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

特別会員ご芳名（50音順・敬称略）

2026年11月1日現在

アース製薬株式会社
代表取締役社長 CEO 川端 克宜
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役会長 鄭 東静
あすか製薬株式会社
代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス
代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤 孝
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役 八方 健介
株式会社泉放送制作
代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社
代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎
株式会社インフォマート
代表取締役社長 木村 慎
ウエルシア薬局株式会社
代表取締役社長 田中 純一
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
宇部エクシモ株式会社
代表取締役社長 福永 謙二
株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社
代表取締役社長 児玉 光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
株式会社エルイーテック
代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎
岡三証券株式会社
荻窪タウンセブン株式会社
株式会社ONODERA GROUP
グループ代表CEO 小野寺裕司
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
鹿島建設株式会社
代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 小林 宏彰
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 小土井満治
株式会社カナック企画
代表取締役社長 金子高一郎
株式会社カナデン 代表取締役社長 守屋 太
株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正
株式会社ガモウ
取締役執行役員会長 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社
代表取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社
代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎
木下哲税理士事務所 代表社員 木下 哲
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 髙宮 満
共和建物管理株式会社 代表取締役 平 浩
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長COO 南方 健志
株式会社きんでん 代表取締役社長 吉増 憲二
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グローブシップ株式会社
代表取締役社長 矢口 敏和
京王重機整備株式会社
代表取締役社長 梁瀬 哲夫
株式会社京王設備サービス
取締役社長 山木 正一
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 鳥井 信宏
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
株式会社シティライフプロパティーズ
代表取締役会長 石橋 秀雄
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 新村 達也
株式会社集英社 代表取締役社長 林 秀明
株式会社シェルター 代表取締役会長 木村 一義
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック 代表取締役社長 柳 秀樹
杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山 健
住友ベークライト株式会社
代表取締役社長 鍛冶屋伸一
株式会社スプリックス
代表取締役社長 常石 博之
全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 代表取締役社長 上原 茂
大日本除虫菊株式会社
代表取締役社長 上山 史朗
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
TANAKEN株式会社
代表取締役社長 中尾 安志
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 眞田 茂春
千代田化工建設株式会社
代表取締役社長 太田 光治
株式会社千代田テクノル
代表取締役会長 細田 敏和
株式会社中央デパート
代表取締役社長 木村 和貴
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカ ケンメイ
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
株式会社T&Aマネジメント
代表取締役 長田忠千代

THK株式会社　代表取締役会長　寺町　彰博
株式会社電通
代表取締役 社長執行役員　松本　千里
東亜建設工業株式会社
代表取締役社長　早川　毅
株式会社東急コミュニティー
代表取締役社長　速川　智行
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長　城田　宏明
株式会社東京交通会館
代表取締役社長　細包　憲志
東京美装興業株式会社
代表取締役社長　八木　秀記
東洋熱工業株式会社
代表取締役社長　谷口　昌伸
戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
学校法人東京音楽大学　理事長　丸山恵一郎
株式会社永田音響設計
代表取締役社長　小口　恵司
株式会社ナミキ　代表取締役会長　並木　洋一
日鉄興和不動産株式会社
代表取締役社長　三輪　正浩
株式会社ニフコ　代表取締役社長　柴尾　雅春
日本精工株式会社
取締役 代表執行役社長・CEO　市井　明俊
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　今井　正
日本電子株式会社
代表取締役社長 兼 CEO　大井　泉
日本パーカライジング株式会社
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社
代表取締役社長　根本美恵子
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　名倉　健司
株式会社バッファロー
代表取締役社長　牧　寛之
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
税理士法人ヒイラギ　代表社員税理士　黒田　榮治
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
株式会社美禅　代表取締役　堀　哲昭
非破壊検査株式会社
代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也
株式会社ファミーユ　代表取締役　新庄眞帆子
富国生命保険相互会社
代表取締役社長　渡部　毅彦
富士ソフト株式会社
代表取締役社長執行役員兼CEO　室岡　光浩
富士テレコム株式会社
代表取締役社長　土井　寛
一般財団法人藤本育英財団
理事長　藤本由紀子
古河産業株式会社　代表取締役社長　伊藤　啓真
株式会社フルヤ金属　代表取締役　古屋　堯民
株式会社Bridgepoint
代表取締役社長　佐藤　司
株式会社プロHD　代表取締役　岡村　新也
合同会社ベルファーマシー
代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　大熊　一成

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長CEO　清明　祐子
株式会社丸井グループ
代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　加藤　昌彦
丸文株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者　堀越　裕史
丸美屋食品工業株式会社
代表取締役社長　阿部豊太郎
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　福留　朗裕
三井住友信託銀行株式会社
名誉顧問　北村邦太郎
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　髙井　直哉
三菱ガス化学株式会社
代表取締役社長　伊佐早禎則
三菱総研ＤＣＳ株式会社
代表取締役社長　亀田　浩樹
三菱地所株式会社　執行役社長　中島　篤
三菱重工業株式会社　取締役会長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社
代表取締役 社長　斉藤　秀親
株式会社三菱ＵＦＪ銀行　頭取　大澤　正和
三菱ＵＦＪ証券ホールディングス株式会社
取締役社長兼CEO　関　浩之
武蔵商事株式会社　取締役会長　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役社長　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社
終身名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
UBE株式会社　取締役会長　泉原　雅人
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役社長　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
リガク・ホールディングス株式会社
代表取締役社長　川上　潤
リョーサン菱洋株式会社
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　東　克己

匿名5名

パトロネージュご芳名（50音順・敬称略）　2026年10月13日現在

青山やすし　東京都
秋元　和美　東京都
明田　重樹　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
新井　康允　神奈川県
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
安西祐一郎　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　百栄　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石津　寿恵　東京都
伊藤　貴博　東京都
伊藤　昌司　東京都
伊藤　好彦　東京都
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
井上　正敏　千葉県
岩沙　弘道　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　神奈川県
上田　泰邦　東京都
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　静岡県
臼井　潤　東京都
内田　博之　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　麗子　東京都
大久保　昇　神奈川県
大竹　広明　神奈川県
太田　達男　千葉県
太田　信之　東京都
大塚　宣夫　東京都
大坪　昌広　東京都
大森　京太　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
荻窪祝祭管弦楽団　東京都
尾澤　弘久　東京都
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　昌子　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
片山　英二　東京都
片山　茂　千葉県
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　清　千葉県
金子　肇　千葉県
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
菊池　和美　東京都
喜多岌久江　東京都
北村　裕　神奈川県
木村　惠司　神奈川県
久野　哲男　千葉県
倉谷　宏樹　東京都
栗原眞知子　埼玉県
黒田　真二　神奈川県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
胡口　靖夫　東京都
小林　和夫　東京都
小林こずえ　東京都
小林　政雄　長野県
小林　裕美　東京都
五味　康昌　神奈川県
齋藤　武則　東京都
坂井　康柄　神奈川県
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
佐藤　正知　東京都
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
島田　和子　東京都
島田　精一　東京都
島田　晴雄　東京都
清水　幸雄　東京都
下河辺美知子　神奈川県
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉村　修　東京都
杉本　功　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　康之　福島県
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
空田　幸徳　東京都
髙井　延幸　神奈川県
髙木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都
竹下　淑子　神奈川県
竹中富知男　東京都
田中　一嘉　東京都
田仲　博幸　東京都
田辺三基男　東京都
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
積田　孝一　東京都
一般社団法人
東京フロイデ合唱団　東京都
東瀬　朗　新潟県
時枝　直満　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中澤　祐一　神奈川県
中島　奈穂　東京都
中嶌　尚信　千葉県
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
中西　祥子　東京都
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中山　彩　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西谷　公男　東京都
西村　醇子　神奈川県
二村　英之　東京都
布村　清美　東京都
沼口　順子　東京都
根本　直之　千葉県
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県
針谷　博史　東京都
日髙　好男　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
広瀬　晴子　神奈川県
廣田　直人　東京都
深沢　茂実　神奈川県
深見　敏正　東京都
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤野　盾臣　東京都
藤原　真也　東京都
星　桂太朗　東京都
細谷　義徳　千葉県
牧野　澄夫　東京都
増井　俊之　神奈川県
増田　文彦　神奈川県
町田　公志　東京都
松尾　東京都
松田　譲　東京都
松村　美希　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　和哉　神奈川県
宮地　直紀　東京都
宮本　裕二　兵庫県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
村上　泰大　神奈川県
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森川　智之　神奈川県
森田　大輔　神奈川県
森田ハルヨ　東京都
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
山上　典彦　東京都
山岸　陽子　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　岳彦　栃木県
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山中　吹雪　埼玉県
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉江　健志　千葉県
吉川　美保　東京都
吉田　貴美　神奈川県
吉田　公彦　神奈川県
吉田　知世　東京都
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
若林　昭子　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邊　裕志　山口県
Maru
M.K.
匿名58名

■ 江原陽子がエデュケーション・プログラム・アドバイザーに就任

夏休みコンサートをはじめ、日本フィルのさまざまなエデュケーション・プログラムや被災地支援活動に長年にわたり出演している江原陽子氏を、2026年11月1日付で、当団のエデュケーション・プログラム・アドバイザーとしてお迎えしました。

今後の日本フィルのエデュケーション・プログラムに、どうぞご期待ください。

■ もうすぐ発売

コバケン・ワールドVol.45	発売日：12月2日（水）
2027年3月6日（土）14：00	横浜みなとみらいホール

指揮とお話：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
フルート：真鍋 恵子［首席奏者］　ハープ：松井 久子
モーツァルト：フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K.299
ベートーヴェン：交響曲第7番

S ￥7,300　A ￥5,800　B ￥4,700　P ￥3,700　Ks（25 歳以下）￥2,000
Gs（70 歳以上）￥4,500

東京室内楽定期Vol.3	発売日：12月2日（水）
2027年3月7日（日）15：00	ヤマハホール

Vn.末廣紗弓　Cb.鈴村優介　Cl.照沼夢輝　Fg.田吉佑久子　Tp.犬飼伸紀　Tb.伊藤雄太
Perc. エリック・パケラ、池田健太、大河原渉、本間雄也
A.J.シローン：4人のための4／4
C.カンジェローシ：プラトンの洞窟　E.コール：ポストリュードより抜粋
J.ケージ：サード・コンストラクション
ストラヴィンスキー：組曲《兵士の物語》

全席指定　一般/￥4,500　日本フィル各種会員/￥4,000

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

10月の東京・横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
（50音順・敬称略）今宮 瑞雄、匿名13名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011　東京都杉並区梅里1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日10時～17時）　FAX：03-5378-6161（24時間）　E-mail：order-ticket@japanphil.or.jp


©飯田 耕治

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邉暁雄が初代常任指揮者を務める。

創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。創立期から始められた「日本フィル・シリーズ」は、日本の音楽史上でも例のない委嘱制度として三善晃、武満徹、細川俊夫ら多彩な邦人作曲家へ新作委嘱を行ってきた。シリーズは42作にまで至り、その中には今日"古典"として定着した作品も少なくない。

2023年9月よりカーチュン・ウォンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りが注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一という指揮者陣を中心に東京・横浜・杉並・さいたま・相模原での定期演奏会をはじめ年間約140回のオーケストラ公演を行う。

1975年から続く夏休みコンサートは親子三世代で楽しめるファミリーコンサートの草分け的存在。学校や介護施設等への訪問コンサートは年間約200回に及ぶ。音楽との出会いの場を広げる創造・体験型ワークショップは、日本のオーケストラにおける先駆的な活動として注目されている。

また、全国各地で地域と協働しながら音楽を通したコミュニティの活性化と、地域文化の発展を目指す長期的な活動も積極的に行っており、特に九州全県で行う九州公演は1975年よりその歴史を刻む。また、1994年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂を本拠地とし、「杉並定期演奏会」や「60歳からの楽器教室」など地域に密着した活動を展開している。

さらに東日本大震災の直後、2011年4月より「被災地に音楽を」を開始。その数は400回を超える。これらが「若い世代への未来への希望を育んでいる」ことに対し、2022年に第16回後藤新平賞が授与された。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

楽団紹介 Orchestra Members

2026年11月1日現在

指揮者
Conductor

創立指揮者	渡邉 曉雄	WATANABE Akeo
首席指揮者	カーチュン・ウォン	Kahchun WONG
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	KOBAYASHI Ken-ichiro
桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ	Alexander LAZAREV
フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）	広上 淳一	HIROKAMI Junichi
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ	Neeme JÄRVI
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	Lukács ERVIN
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン	James LOUGHRAN

コンサートマスター
Concertmaster


ソロ・コンサートマスター
扇谷 泰朋
OGITANI Yasutomo


ソロ・コンサートマスター
木野 雅之
KINO Masayuki


ソロ・コンサートマスター
田野倉 雅秋
TANOKURA Masaaki


アシスタント・コンサートマスター
千葉 清加
CHIBA Sayaka

第1ヴァイオリン
1st Violin


伊藤 太郎
ITO Taro


太田 麻衣
OTA Mai


九鬼 明子
KUKI Akiko


齋藤 政和
SAITO Masakazu


榊 渚
SAKAKI Nagisa


竹歳 夏鈴
TAKETOSHI Karin


谷﨑 大起
TANIZAKI Hiroki


田村 昭博
TAMURA Akihiro


中谷 郁子
NAKAYA Ikuko


西村 優子
NISHIMURA Yuko


平井 幸子
HIRAI Sachiko

第2ヴァイオリン
2nd Violin


遠藤 直子
ENDO Naoko


大貫 聖子
ONUKI Seiko


岡田 紗弓
OKADA Sayumi


神尾 あずさ
KAMIO Azusa


佐藤 駿一郎
SATO Shun-ichiro


末廣 紗弓
SUEHIRO Sayumi


豊田 早織
TOYODA Saori


町田 匡
MACHIDA Tadashi


松川 葉月
MATSUKAWA Hazuki


山田 千秋
YAMADA Chitose

ヴィオラ
Viola


客演首席奏者
安達 真理
ADACHI Mari


江藤 史織
ETO Shiori


小俣 由佳
OBATA Yuka


金田 滉司 □
KANADA Koji


小中澤 基道
KONAKAZAWA Motomichi


児仁井 かおり
KONII Kaori


高橋 智史
TAKAHASHI Satoshi


中川 裕美子
NAKAGAWA Yumiko


中溝 とも子
NAKAMIZO Tomoko


松澤 稚奈
MATSUZAWA Wakana

ソロ・チェロ
Solo Violoncello


門脇 大樹
KADOWAKI Hiroki


菊地 知也
KIKUCHI Tomoya

チェロ
Violoncello


石崎 美雨
ISHIZAKI Miu


伊堂寺 聡
IDOJI Satoshi


江原 望
EHARA Nozomu

大澤 哲弥
OSAWA Tetsuya

久保 公人
KUBO Masato

篠原 和仁
SHINOHARA Kazuhito

山田 智樹
YAMADA Tomoki

コントラバス
Contrabass

鈴村 優介
SUZUMURA Yusuke

成澤 美紀
NARUSAWA Miki

宮坂 典幸
MIYASAKA Noriyuki

森田 麻友美
MORITA Mayumi

山口 雅之
YAMAGUCHI Masayuki

フルート
Flute

首席奏者
真鍋 恵子
MANABE Keiko

斎藤光晴
SAITO Mitsuharu

難波 薫
NAMBA Kaoru

写真 ©井村 重人

オーボエ
Oboe


首席奏者
杉原 由希子
SUGIHARA Yukiko


副首席奏者
松岡 裕雅
MATSUOKA Hiromasa


佐竹 真登
SATAKE Masato

クラリネット
Clarinet


首席奏者
伊藤 寛隆(楽団長)
ITO Hirotaka


副首席奏者
楠木 慶
KUSUNOKI Kei


須東 裕基 □
SUDO Yuki


照沼 夢輝
TERUNUMA Yumeki

ファゴット
Bassoon


首席奏者
田吉 佑久子
TAYOSHI Yukuko


阿部 和輝
ABE Kazuki


鈴木 一志
SUZUKI Hitoshi


中川 日出鷹
NAKAGAWA Hidetaka

ホルン
Horn


客演首席奏者
丸山 勉
MARUYAMA Tsutomu


首席奏者
信末 碩才
NOBUSUE Sekitoshi


伊藤 舜
ITO Shun


原川 翔太郎
HARAKAWA Shotaro


村中 美菜
MURANAKA Mina

ソロ・トランペット
Solo Trumpet


オッタビアーノ・
クリストーフォリ
Ottaviano CRISTOFOLI

トランペット
Trumpet


首席奏者
大西 敏幸
ONISHI Toshiyuki


副首席奏者
犬飼 伸紀
INUKAI Nobuki


星野 究
HOSHINO Kiwamu

トロンボーン
Trombone


首席奏者
伊藤 雄太
ITO Yuta


副首席奏者
笠間 勇登
KASAMA Yuto


福島 莉那
FUKUSHIMA Hana

バス・トロンボーン
Bass Trombone


中根 幹太
NAKANE Mikita

テューバ
Tuba


柳生 和大
YAGYU Kazuhiro

ティンパニ
Timpani


首席奏者
エリック・パケラ
Eric PIEKARA


副首席奏者
池田 健太
IKEDA Kenta

パーカッション
Percussion


大河原 渉
OKAWARA Wataru


本間 雄也
HOMMA Yuya

ハープ
Harp


松井 久子
MATSUI Hisako

□ 試用期間

写真 ©井村 重人

楽団長	伊藤 寛隆
チーフステージマネージャー	阿部 紋子
ステージマネージャー	長橋 健太/森田 大翔
チーフインスペクター	佐藤 駿一郎
インスペクター	鈴村 優介/谷﨑 大起
ライブラリアン	鬼頭 さやか/坂庭 更映/杉本 哲也

理事長(代表理事)	石塚 邦雄
副理事長(代表理事)	五味 康昌
専務理事(代表理事)	福井 英次
常務理事(代表理事)	後藤 朋俊
理事(業務執行理事)	別府 一樹
理事	田村 浩章／戸所 邦弘／福本 ともみ 佐々木 経世／葉田 順治
監事	福澤 宏哉／細谷 義徳
評議員会会長	加藤 丈夫
評議員	津田 義久／島田 精一／小林 研一郎 荒蒔 康一郎／青井 浩／梶浦 卓一 河北 博文／山口 多賀幸／久保田 隆 木村 惠司／石村 等／大塚 宣夫 村上 典吏子／稲垣 尚／安孫子 正 西澤 豊／福満 一夫／中根 幹太 飯嶋 庸夫／北村 邦太郎／奥田 佳道 秡川 直也
特別顧問	平井 俊邦
名誉顧問	熊谷 直彦/島田 晴雄
エデュケーション・プログラム・アドバイザー	江原 陽子

マネジメント・スタッフ	淺見 浩司/磯部 一史/江原 陽子 及川 ひろか/小川 紗智子/荻島 里帆 賀澤 美和/香取 春子/金田 雅子 小須田 萌/佐々木 文雄/澤田 智夫 篠崎 めぐみ/杉山 綾子/杉山 まどか 髙橋 勇人/髙橋 みゆき/田中 正彦 樋谷 祐子/寺田 義己/中村 沙緒里 西田 大輔/西田 真菜/長谷川 珠子 樋高 雄太/藤田 千明/古舘 順一 宗澤 晶子/山岸 淳子/和田 美希
チーフマーケティングオフィサー	伊藤 治彦
シニア・パートナー	新井 康允/永島 義郎/南部 洋一 吉江 信博

団友	青柳 哲夫/青山 均/新井 豊治 伊藤 恒男/伊波 睦/宇田 紀夫 遠藤 功/遠藤 剛史/大石 修 筧 美知子/柏熊 由紀子/加藤 祐一 蒲谷 隆行/川口 和宏/川口 貴 菊田 秋一/岸良 開城/吉川 利幸 木村 正伸/小山 清/斎藤 千種 佐々木 裕司/佐藤 玲子/菅原 光 髙木 裕子/髙木 雄司/高木 洋 高倉 理実/髙山 智仁/田沢 烈 立川 和男/堂阪 俊子/富樫 尚代 豊田 尚生/中川 二朗/中里 州宏 永田 健一/中務 幸彦/奈切 敏郎 橋本 洋/畑井 紀代子/平賀 法子 福島 喜裕/本田 純一/松本 克巳 松本 伸二/三本 克郎/宮武 良平 三好 明子/森 茂/山下 進三 山科 淑子/渡辺 哲雄

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
https://japanphil.or.jp

チケットお申し込み・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911（平日10時～17時）

※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

eチケット♪
https://eticket.japanphil.or.jp/

公式 X（旧Twitter）
@Japanphil

公式
アカウント

公式
インスタグラム

JAPANPHIL_OFFICIAL

公式
Facebook

メールマガジン
日本フィル NEWS はこちらから登録！

日本フィル公式YouTube / @JapanphilMovie

「2分でわかる!
大人のためのオーケストラ入門Plus＋」

毎月10日・20日に
お届け